## 長良支部

# 梅子の家子ども食堂のクリスマス会を開催

12月24日梅子の家子ども食堂のクリスマス会を開催。当日は前日から降った雪で、あたり一面雪景色。

そんな中、元気な子どもたちの声で外に出るとすでに早々と集まった子どもたちがアンパンマン雪だるまを作っていました。まさにホワイトクリスマス。総勢子ども25名（3才～15才）、大人8名の参加。恒例のビンゴゲームは中学生2人がすすめ、小さい子はおねえさんの膝で一緒に和気あいあいと楽しみました。

大人はオムレツ弁当作り、子どものお母さんも参加し、厨房では嫁と姑（会員）の会話が弾む。

計画では久しぶりに梅子の家で食事をしたいと思っていたのですが、コロナが再び感染拡大し、弁当となり残念でした。

サンタクロースに変身した役員さんが、じゃんけんしながら、1人づつにプレゼントを渡し、終わりました。

子ども食堂として歩んで7年。ますますつながりが希薄となり、生きずらくなっている今、子どもの「楽しい居場所」、「地域のつながりを深める場所」として、今年も頑張りたいと思います。

（斉藤恵津子）

## 日野支部

# リニューアル説明会で13名が参加

2024年春、みどり病院がリニューアルすることに向け、各地域、各支部ではリニューアル説明会を開催しています。コロナ禍で思うような企画はできていませんが、感染対策を工夫しながら2022年3月から20カ所以上で開催しています。

11月に開催した日野支部（準）では、会場に二酸化炭素濃度計を設置して、参加者の方が安心して説明会に参加できるよう配慮して行いました。

参加者の中には、華陽診療所をつくった時に関わった方も参加しておられ、「当時、基金を集めるために、草の根活動で色々な人に声がけをして必死に基金活動をした。今回は大規模な活動だから、もっと色々な方法で基金活動をしていかないと、目標の2億円は本当に大変だと思う。」等貴重なご意見もお聞きできた説明会になりました。

この説明会前後に、会員2名の仲間増やしと「いつでも元気」購読者1名を増やす取り組みができました。

説明を行うみどり病院の今西薬剤部長

# 9条を守ろう

## 「岐阜駅爆撃・生き残った駅員の証言」（当時19歳女性）

私は、加納高女を卒業し事務員として国鉄に就職しました。ところが、男の方が戦地にとられたため集札係として現場に回されました。

1945年7月9日、岐阜空襲の日は夜勤でした。空襲と同時に「逃げろ」の命令で、同僚と二人で集札の道具と私物を持ち、南の荒田川を目指して逃げました。途中で私物は捨てましたが、集札の道具は肌身離さず持って荒田川まで来ました。川を渡ることができず、岸辺で蚊に刺されながら隠れていました。

空襲解除となり、家に帰りたかったのですが、駅が心配で駅に戻りました。駅は丸焼けになっており、爆死した駅員仲間の身元確認をやらされ涙が止まりませんでした。いってみれば首実検です。数時間前まで一緒にいた仲間です。駅に戻る時の焼死体や、焼夷弾のガソリンの臭いは今でも思い出します。「戦争は絶対いやです!!」

『駅は訴えます！』

憲法9条改悪の声が騒がしく、軍靴の音が聞こえるようです。駅は、再び大切な父親や夫、恋人や息子、兄弟を戦場へと行くのを見送りたくありません。白木の箱に入って帰ってくるのを迎えたくはありません。駅は、街を発展させ、未来に向かって出発する人々を見送り、迎える「人生の港」として生まれたのです。

岐阜のみなさん、愛郷の精神で団結してください。憲法9条を守り、活かし、軍人や武器を運ぶ駅にさせないで下さい！

# 岐阜健康友の会の「公式LINE」1年が経ちました

2022年1月1日からスタートした、「公式LINE」は1年が経ち、12月末時点での登録者数は「262人」になりました。毎週木曜日の配信を基本に、病院からの情報や、感染対策、友の会の活動や、署名のお願いなど、様々な情報を計59回配信しました。

2023年は、様々な情報に加え、みどり病院のリニューアルについて、新病院の建築状況などをリアルタイムで配信していきます。まだ登録をされていない方は、是非登録をお願いします。

**登録・操作方法**　スマホをお持ちの方は、QRコードで登録ができます。

### 友だち追加方法

① LINEを開く
② ホームを押す
③ 友だち追加を押す
④ QRコードを押す
⑤QRコードをかざし「追加」を押す
⑥登録完了!

### 登録をお願いします

**予定している情報発信内容**

◎友の会の活動紹介
◎健康とくらし
◎新型コロナについて
（感染対策や新しい情報）
◎各事業所（みどり病院・すこやか診療所・華陽診療所・こがねだ診療所・関連の介護施設等）からの情報
◎災害や震災があった時の各地域の情報やみどり病院の避難状況について等
◎求人募集
様々な情報を1週間に1～3回程度送ります。

# 「いつでも元気」紹介

「いつでも元気」は1991年12月創刊から31年続いている、民医連と地域をつなぐ月刊誌。全国で5万人以上の方が購読をしています。地域の活動、医療、介護、情勢、他にも全国の景色や花等きれいな写真、料理レシピ、映画紹介など様々な情報が掲載されています。

1冊380円

左記は、2022年8月号の表紙です。
世代を超えて、平和活動に取り組んでいる、岐阜在住の90代の方と中学3年生の方です。

購読希望の方は、
下記連絡先まで
ご連絡ください
連絡先：
058－244－3522
岐阜健康友の会本部